

しそ

—— 発病・加害時期
 === 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春まき露地 春まき露地（おおば）			●	●	—	■			☆	☆		
斑点病 アブラムシ類 ハダニ類 ハスモンヨトウ					—	—	—	—	—	—		
夏まき加温（おおば養液栽培）					☆			☆	●	●	▲	▲
斑点病 アブラムシ類 アザミウマ類 ハダニ類 ハスモンヨトウ					—	—	—	—	—	—	—	—

斑点病

留意事項

- 1 気温20℃以上で多湿時に発生が多い。
- 2 アミスター20フロアブルは、薬害のおそれがあるため、浸透性を高める展着剤を加用しない。また、QoI剤（**11**）、SDHI剤（**7**）は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。
- 3 キノンドー水和剤40、ダコニール1000は、水産動植物に強い影響を与える恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。

防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 初発生時に、下記の薬剤を株元散布する。
 - ・ **キノンドー水和剤40** **M1** 【1000倍 前日／4回】
 - ・ **ダコニール1000** **M5** 【株枯症 1000倍 前日／4回】
- 3 発病を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ **アミスター20フロアブル** **11** 【2000倍 前日／2回】
 - ・ **アフェットフロアブル** **7** 【2000倍 3日／2回】
 - ・ **エコショット** **BM2** 【2000倍 前日／—】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

さび病

留意事項

- 1 5～6月に発生が多い。
- 2 アミスター20フロアブルは、浸透性を高める展着剤を加用しない（薬害）。QoI剤（**1 1**）は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 連作を避ける。
- 2 被害株は、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 3 発病を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トリフミン水和剤](#) **3** 【5000倍 収穫開始10日／3回】
 - ・ [オンリーワンフロアブル](#) **3** 【4000倍 21日／2回】
 - ・ [サンリット水和剤](#) **3** 【5000倍 前日／3回】
 - ・ [アミスター20フロアブル](#) **1 1** 【2000倍 前日／2回】

アブラムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アドマイヤーフロアブル](#) **劇 4 A** 【4000倍 3日／3回】
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) **4 A** 【3000倍 3日／2回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) **3 A** 【4000倍 前日／2回】
 - ・ [ウララDF](#) **2 9** 【4000倍 3日／2回】

アザミウマ類

留意事項

- 1 スピノエース顆粒水和剤は、希釈倍数を間違えないよう注意する。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) **5** 【しそ科葉菜類 10000倍 3日／3回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) **3 A** 【4000倍 前日／2回】

ハダニ類

留意事項

- 1 ミヤコカブリダニ、または、チリカブリダニを利用する場合は発生初期に放飼する。
- 2 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 施設栽培では、ミヤコカブリダニ（スパイカルEX）または、チリカブリダニ（スパイデックス等）を放飼する。
 - ・ [スパイカルEX](#) - (生)
 - 【野菜類 100～1250ml（約2000～25000頭）／10a 発生初期／-】
 - ・ [スパイデックス](#) - (生)
 - 【野菜類（施設栽培） 100～300ml（約2000～6000頭）／10a 発生初期／-】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [コロマイト乳剤](#) 6 【2000倍 前日／2回】
 - ・ [マイトコーネフロアブル](#) 20D
 - 【しそ科葉菜類（除えごま（葉）） 1500倍 3日／1回】
 - ・ [スターマイトフロアブル](#) 25A 【2000倍 3日／1回】
 - ・ [アフーム乳剤](#) 6 【2000倍 7日／2回】
 - ・ [ニッソラン水和剤](#) 10A 【3000倍 14日／1回】

ハスモンヨトウ

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3A 【4000倍 前日／2回】
 - ・ [BT剤](#) 11A (IX野菜類の病虫害防除 3野菜類 参照)
 - ・ [アフーム乳剤](#) 6 【2000倍 7日／2回】
 - ・ [プレオフロアブル](#) UN 【1000倍 7日／2回】
 - ・ [カスケード乳剤](#) 15 【しそ科葉菜類（除バジル） 4000倍 3日／2回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。